

## 古 典 紹 介 ・ 解 説

### 皇甫府君碑①

橋本 圭風

前号に引き続き欧陽詢（五五七・六四一）の作である皇甫府君碑を、半年間学んでいきます。

この日は皇甫誕（五五四・六〇四）の功績をたたえる内容で、隋王朝に仕えた名臣で字は玄憲・安定朝那の人です。碑文は于志寧が撰文し欧陽詢が揮毫し、額に篆書の題字が十二字「隋柱国弘義明公皇甫府君碑」が陽刻され碑文は二十八行、毎行五九に並べられています。建碑の年月は不明ですが、晩年の作と言われています。九成宮、皇甫府君碑と共に温彦博碑、化度寺碑の四種の楷書の碑があります。

### 集字聖教序①

畠中 香風

三蔵法師（玄奘）がインドから多くの教典を持ち帰り翻訳し新約経典を完成させたことにより太宗皇帝からその功績を記した序文「大唐三蔵聖教序」と皇太子（後の高宗）から賜った「述聖教記」を弘福寺の僧懷仁が皇帝の収集した書聖王羲之の多数の真跡から文字を拾い集め刻した碑が「集字聖教序」です。総字数千七百九十二字の集字作業だけでも大変な苦勞をし、二十四年もの歳月をかけ完成しました。

行書学習の最高の典範とされてきたこの碑を半年間しっかりと学んでいきましょう。